



インフルエンザと特殊詐欺！ 予防のために、接触を防ごう！



自宅にある固定電話、本当に必要ですか？

特殊詐欺の犯人は、親族、警察官、銀行協会、金融機関、役所、百貨店等を名乗って電話を掛けてきたり、会社を名乗ってメールを送ってきます。電話等で怪しい者と話をしないことが一番の予防策です。

令和元年中の第一期罔の通信手段（被害件数206件）

・ 自宅の固定電話	158件(77%)
・ 携帯電話	3件
・ ウェブサイト	6件
・ メール	35件
・ はがき、封書	1件
・ FAX	3件

- ・ 使っていない固定電話は解約しませんか？
- ・ 固定電話を防犯機能付き電話機にしませんか？
- ・ 非通知の電話には出ないようにしましょう。

もし電話やメールがあった場合でも

- ☆ 警察官や金融機関を名乗っていても1回電話を切り、まず家族、警察に相談！
- ☆ 身に覚えのない未払い料金請求のメールは、書かれていまする電話番号に電話する前に、まず家族、警察に相談！



特殊詐欺の犯人と会話をしないことが一番です！

新型コロナウイルスによる肺炎が世界各地に拡大していますが、インフルエンザ予防と同様にマスクや手洗いにより、ウイルスとの接触を極力避け、家庭にウイルスを持ち込まないことが一番の予防法のようなうです。

特殊詐欺には多くの手口がありますが、被害に遭わないようにするためには、危険な犯人と接触をしないことが一番の予防法です。

犯人からの接触で一番多いのが自宅の固定電話に出ることです。

自宅の固定電話を防犯機能付き電話機（非通知拒否設定や、通話内容を録音するとのメッセージを流し、通話内容を録音する機能付きの電話機）にして、家庭に特殊詐欺のウイルスを持ち込まないようにしましょう。

